# 公募テーマの詳細

**公募テーマ４**

| 公募テーマ | 救急資器材の改良等による傷病者の更なる安全確保 |
|---|---|
| 現状・背景 | 救急出動件数、搬送人員は年々増大傾向にあり、個々の救急活動における負担は増大している現状があります。今後も、高齢化の進展等による救急需要の増加や、救急業務に求めるニーズの多様化等により、救急隊の担う役割はより一層大きくなると考えられます。<br>東京消防庁では、傷病者の安全を最大限確保していくためには、救急活動において活動する隊員がより心身にかかる負担を正確に把握し、それらを軽減した資器材等の活用が重要なため、これらに資する技術の情報や開発状況を収集し、今後、企業や研究機関との共同研究開発を公募型研究（有償）にて実施することを検討しています。 |
| 実現したい将来像 | 近年、電動ストレッチャーやパワードスーツといった、身体的負担の軽減に寄与する様々な資器材が全国の消防本部でも取り入れられるようになりましたが、コストやそれ自体が抱える別の課題により、導入が限定的となっている例がみられます。<br>今後、救急活動において現有資器材における活動で、どのような負荷がかかっているかを詳細に分析し、必要な対策を図るとともに、資器材の軽量化や小型化、電動化を目指すものです。 |
| 想定する技術例 | ・救急活動に資するパワーアシストスーツに関する技術情報<br>・心身負担を数値化する技術情報<br>・患者と隊員の負担を軽減するメーンストレッチャーの情報<br>・メーンストレッチャーやサブストレッチャーの軽量化に関する情報<br>・その他、当該研究開発に寄与すると思われる技術 |